

■ 食の新たな可能性の創出と消費拡大の促進
新たな戦略品目を含め、道産品の消費拡大チャレンジの展開など消費や販路拡大に取り組むとともに、食育や木育を推進します。

(政策展開の方向性)
 米や小麦、乳製品など主力道産品の様々な消費拡大チャレンジを展開するなど消費の拡大に向けて取り組みます。また、落花生やにんにく、さつまいも、マイワシ、ニシン、ブリなどの新たな戦略品目の消費や販路の拡大に取り組めます。子どもの頃からふるさと北海道に親しむ心を育てる食育や木育を推進します。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
農業生産の振興	○各品目の生産体制の強化に向け、消費者や実需者の多様なニーズに対応した競争力のある農産物の計画的、安定的な生産を図るため、基本技術の徹底やICTの活用などによる生産性の向上や省力化、水田のフル活用、適切な輪作体系確立の推進	0602
高付加価値農業の推進	○6次産業化の推進に向け、北海道6次産業化サポートセンターを開設し、各種相談（農林水産物の加工・販売、新商品の開発などに関する相談）に対応【R6 窓口相談対応210件、専門家による現地指導52回実施】 ○輸出先国の需要等を踏まえたフェアや商談会の実施、SNSによる情報発信、インバウンド向けのイベント開催などPRの強化により、海外の消費者等における道産農産物等への関心を喚起【商談件数82件うち成約6件】 ○輸出先国のニーズへの対応など輸出産地確立に向けたセミナーを開催し、産地の機運の醸成を図るとともに、民間事業者による輸出先国の基準に対応した施設整備等に対する支援を行い、北海道のブランド力と認知度の向上および、輸出産地としての体制の整備を支援	0603
安全・安心な食品づくりと愛食運動の推進	○国際水準GAPを実践する農業者の増加に向けて、農業者への指導・普及啓発の実施、農業教育機関等の認証取得への支援により、国際水準GAPの認証への関心を醸成【国際水準GAPの認証農場数 R5：320農場、R6：331農場】 ○食に関する様々な課題を解決するため、食育活動の取組事例発表会や出前講座を開催し、食育を推進【事例発表会実施回数 R6：4回 出前講座 R6：5回】	0606
道産水産物の高付加価値化と販路拡大	○令和7年度は、魚食普及推進事業により学校給食への導入促進や新たな加工品開発等に対し計8件の補助を実施予定 ○資源増大魚種について、道産水産物需要拡大事業により令和5年度～令和7年度に道内全域でマイワシ、ブリフェア（実施済）及びニシンフェア（予定）を開催し、これら魚種の消費喚起を実施 ○貝毒や放射性物質のモニタリングの継続及びその結果の公表による安全性のPR ○輸出証明書の発行による輸出伸長のサポート【R7.10末時点：878件】 ○水産加工場のHACCP認定取得施設数（対米、対EU）の増加【R7.10末時点累計：130施設】 ○令和7年11月にシンガポールバイヤーを活貝の産地に招へいし、生産現場の視察及び意見交換を行うとともに、シンガポールへの活貝の輸送テスト、ニューヨークレストランでの飲食店フェアや商談会、宿泊施設と連携したインバウンドを対象とする道産水産物フェアを開催予定	0702

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書（「○～」）、道ホームページ等（「◇～」）より引用・作成

森林吸収源対策の推進	○企業等と森林所有者のマッチングや、教育機関等が実施する植樹等の体験及び環境教育に対する支援、木育マイスター等と連携した木育活動を実施【企業等と木育マイスターが連携した木育活動 R4：78件 R5：102件 R6：124件】	0706
林業・木材産業の振興		0707
体力・運動能力の向上や 健康教育・食育の充実	<p>○学校における食育推進体制の整備に向けた実態調査を実施し、調査結果から、管理職及び栄養教諭等へのそれぞれの指導内容をまとめ改善のポイント等を周知し、各学校での改善への取組を促進</p> <p>○サッポロさとらんどにおいて、親子を対象に北海道学校給食コンクールの受賞献立の試食会と食育事例発表会を開催し、食育の大切さや地産地消、和食給食の魅力を発信</p> <p>○北海道学校給食コンクール【R7.1】を実施し、コンクールの内容と審査結果をHP、クックパッドに掲載するとともに、ホテルポールスター札幌において受賞メニューを提供するなど、学校関係者以外にも地場産物を活用した学校給食を広く周知し、家庭における食育の取組を推進</p>	1102

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成